

## 2030年のあるべき姿(ビジョン)



弊社を含むセブン&アイグループでは、豊かな地球環境を未来世代につなぐため、2019年に「GREEN CHALLENGE2050」という環境宣言を策定し、「脱炭素社会」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」という4つのテーマから「2030年の目標」、「2050年の目指す姿」の具体的な数値を掲げています。沖縄県においてもこのグループの環境宣言に沿った取り組みを行いながら、沖縄県SDGsの取り組みを実施し「地域のお客様に愛されるお店作り」を進めてまいります。

## 認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要		
経済	沖縄県産原材料の継続した使用、オリジナル商品の開発、使用原材料の拡大	沖縄県産原材料を使用したオリジナル商品を県内のセブンイレブン店舗にて販売。全国の店舗でも販売体制を構築し、地産地消・地産他消に取り組み、消費量拡大と生産者の認知・収益向上、産業振興を図る。
社会	「子どもの貧困問題」について、食支援を中心とした取り組みの実施	沖縄県の社会問題に対する取り組みの一環として、食支援を中心に「子ども食堂」「NPO団体」「各行政区」への支援体制を構築する。沖縄食の未来ネットワークへの参画と、加盟店フードドライブの実現。
環境	ペットボトル回収機の設置を通じたリサイクルの推進	セブンイレブン店舗へ廃ペットボトル回収機を設置し、お客様を含めた県民全体で参加型のリサイクルを実施。回収されたペットボトルをペットボトルに再生させ、資源として循環させる「ボトルtoボトル」を推進する。 